

町長 施政方針

平成30年第1回広野町議会定例会が3月8日(木)から16日(金)までの会期で開催されました(9日(金)から11日(日)までは休会)。初日の8日には遠藤町長が平成30年度の施政方針を表明しました。これは4月から始まる新年度に向けて、まちづくりに対する基本方針や政策を町民のみなさんに説明するものです。町民のみなさんに町政運営の理解を深めていただくために、施政方針で挙げた重点事業の抜粋を掲載します。

1 『医』の充実について の事業

保健事業の推進につきましては、本町においては、心疾患、脳血管疾患の死亡率が国・県より高く、生活習慣病の予防が重要な課題となっております。また、これまでの避難生活により、生活習慣病の発症や身体機能の低下、閉じこもり、心の病などの心身の健康状態の悪化も懸念され、健康支援活動を継続していく必要があります。このことから、福島県をはじめ、県内外の有識者、関係機関の指導・助言をいただきながら、「広野町健康づくり計画」に沿って、栄養、運動、心の健康等の健康づくりに取り組めます。

町民の健康管理につきましては、保健師、栄養士等専門職員による家庭訪問を実施し、心身の健康状態の把握と保健指導を行います。併せて専門職による運動教室、料理教室などを開催し、健康の保持増進に努めます。特に、各家庭での減塩対策を進めるため塩分濃度計を貸し出し、食生活改善推進協議会と連携して減塩の普及推進に努めます。また、総合検診の健康診査において、尿中塩分量測定を実施し、適正な塩分摂取量を啓発します。さらに、県内外の有識者による講演会や健康まつりなどの啓発活動をとおり、健康意識の高揚を図るとともに、特定健康診査データなどを保健事業に反映させ、町民の健康寿命の延伸に努めます。健康診査、各種がん検診を実施し、生活習慣病の予防、疾病の早期発見・早期治療を目指すとともに、特定健診未受診者に対しては、受診勧奨を行います。各種予防接種事業、人間ドック・脳ドック検診費用助成を引き続き実施いたします。

町内の医療体制につきましては、医療環境の充実に向上を図ることを目的とした医療環境向上推進事業を継続し、休診日などの当番制による診療体制を整え、また救急患者の受け入れにつきましても医療機関に対する支援を継続するとともに、町民が安心して生活できるよう、町内医療機関と連携を図っていきます。

国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険における保険料・保険料および一部負担金につきましては、上位所得層を除く被保険者は引き続き免除されることとなり、保険料・保険料につきましても平成31年3月分まで、一部負担金につきましても平成31年2月28日まで免除期間が延長されます。

本町の医療費は、著しく高い水準にあります。特定健康診査の受診率向上、医療費適正化の

推進、健康づくり意識の啓発、医療費分析の結果を活用した保健事業などに取り組み、各医療制度の事業運営の安定化に努めたいと考えております。

高齢者福祉につきましては、町、社会福祉協議会、医療機関、介護事業者などが情報を共有し、連携を図りながら、町民の健康寿命を延伸させるとともに、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう「地域包括ケア」の実現に向けて取り組みます。帰還されたご自宅において、健康で生きがいを持つて安心して暮らすことができるよう、関係機関と連携し、外出支援サービス事業、軽度生活援助サービス事業など、様々な福祉サービス事業を継続し、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の生活支援の充実を図ります。

障がい者福祉につきましては、障害者が自立した生活を送ることができるよう、障がい者自立支援給付事業や地域生活支援事業をとおり、日常生活を支援するとともに、各種障がい福祉サービスや相談業務の充実に努めます。また、帰還された障がいをお持ちの方で、公共交通機関の利用が困難な場合や福祉事業所の送迎を受けられない方のために通所事業所までの移



「第8回放射線と健康に関する講演会」

動支援を引き続き継続いたします。

介護保険事業につきましては、超高齢社会を迎え、健康寿命の確保に向け平成28年度から「いきいき百歳体操」を実施しております。平成30年度においても実施箇所を増やし、地域住民が自主的に活動できるよう、サポート体制を整えます。必要の方に必要なサービスが適切に提供できるように努めながら、介護予防の強化に向けた取組を継続いたします。

放射線健康管理事業につきましては、本町における放射線量は、除染などにより低減しているものの、町民はいまだ健康不安を抱えている状況にあります。引き続き、ホールボディカウンタによる内部被ばく検査

に加え、小学生・中学生を対象としたDシヤトル線量計による日常生活で受ける放射線量の測定、放射線健康管理アドバイザーによる講演会と少人数による相談会を実施し、放射線による健康不安の軽減に努めます。大学の教授ら外部有識者による広野町放射線健康対策委員会は、引き続き委員会活動を継続し、町民の放射性物質による健康影響などについて、専門家からの適切な指導助言をいただきながら放射線健康対策に取り組みます。また、町民の放射線に対する不安や疑問にお応えするため設置した広野町放射線相談室は、さらに内容の充実に努め、町民が抱く放射線に関する各種不安について、きめ細やかな対応となるよう努めます。

本年4月に本格着工し、地元雇用の拡大が大いに期待されます。

イノベーション・コースト構想の推進につきましては、本町は、双葉地方における廃炉などの研究開発拠点のバックオフィスの役割を果たし、広野町以北の復興を促進すべく、取り組んでおります。そのような中、本構想の具体化を推進するために必要な体制を充実する観点から、より速く効率的に構想を実現するために、行政だけでなく、産業界、学界の参画のもと、産学官で目標を共有し、浜通り地域の現状、課題を整理し、今後の浜通りにおける産業が目指していく方向性と、その実現に向けて必要となる実施体制、情報発信のあり方や交流人口の拡大

を含む取り組みを進めていきます。

被災地域テレワーク推進事業の導入につきましては、地域住民が柔軟な働き方のできる雇用環境、特に子育て世代の就労機会の拡大を図り、若者の定住拡大につなげることを目的として、平成29年度に、ふくしま未来テレワーク「おらげ」を立ち上げました。今後も、更に内容の充実を図り、目的達成に向け、最善を尽くしてまいります。

農業におきましては、営農再開6年目となる平成30年度産米の作付けについて、福島県より作付面積の目安として167ヘクタールと示されました。平成30年度営農を行う農家に対しては、国の経営所得安定対策を活用していただき、農業経営の安定化を図ります。併せて、本町は、ふるさと応援寄附金に寄附していただいた納税者に特別栽培米をお礼の品として贈る取り組みをとおり、生産農家への支援と広野町産米のPRをしていきます。

また、担い手農家への農地の集約を目指し、ほ場の環境整備を図るため、町内7地区のほ場整備事業の年内着手に向け関係機関と連携し取り組みます。農業後継者の確保・育成に向けた取り組みとして、「広野町



ふるさと納税返礼品出発式

農業次世代人材育成奨学資金条例を設け、町の農業振興と農業後継者を確保するためその修学に必要な資金を貸し付けし、農業経営の安定と優れた農業担い手の確保を目指します。

2 『職』の充実について の事業

雇用の創出につきましては、は、広野駅東側開発地区や広野工業団地への新規企業の誘致を進めるとともに、新たに除染廃棄物等の仮置き場として土地利用を図っていた広野工業団地隣接地および東町地区仮置き場を産業団地としての再整備を行い、積極的な企業誘致を推進いたします。なお、広野火力発電所内の石炭ガス化複合発電（IGCC）は、



福島高専地域復興支援室広野オフィス開所式

また、担い手農家への農地の集約を目指し、ほ場の環境整備を図るため、町内7地区のほ場整備事業の年内着手に向け関係機関と連携し取り組みます。農業後継者の確保・育成に向けた取り組みとして、「広野町

3 『住』の充実について の事業

「広野町まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の取り組みにつきましても、本町は、第5次広野町町勢振興計画および第2次国土利用計画を策定いたしました。これらの計画で示している基本理念や将来像と方向性が、総合戦略で目指すまちづくりと一致していることから、広野町総合戦略を町勢振興計画の、特に若い世代における移住・定住促進、新たな人の流れ、ま

ちづくり、産業分野の戦略的ビジョンとして位置付け、広野スタイル創出事業などに取り組みます。また、総合戦略で示す、まち・ひと・しごと創生を実現するため、より効果的・効率的に取り組むを進めるとともに、その効果を検証してまいります。

復興関連事業の継続につきましては、「広野町復興計画」に掲げる基本理念・目的を達成するため、シンボル事業として位置付けている広野駅東側開発の整備を進め、諸施策を確実に実施いたします。また、復興関連事業をはじめとした、まちづくり施策の実施につきましても、福島再生加速化交付金をはじめとした国・県補助金などの財源確保に努め、町独自財源の負担を少なくする財政運営に努めます。

特に復興拠点として整備している駅東側につきましても、東口広場整備も完了したことから、第2期開発地で計画している住宅地整備を、民間事業者との連携も模索しながら早期完成を目指し、進めていきます。

駅西側広場整備につきましては、現在までJRをはじめ、関係機関と協議を進めているところですが、現有トイレがブライパシー確保やバリアフリーの面で著しく劣っており、早急な整備が求められております。この